

「今日からする・備える口腔ケア」実践！健口セミナー ～災害時肺炎を口腔ケアで防ぐ～

神戸市はジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社と共催で、災害時になぜ口腔ケアが重要なのか、その備えとして普段から気をつけるべき正しい口腔ケアの方法を市民に発信する、「今日からする・備える口腔ケア」実践！健口セミナーを、令和4年1月11日(火曜)、神戸市危機管理センターにて開催しました。このセミナーは、会場に地元住民を招待して行われたほか、神戸市の公式YouTubeでもリアルタイムで配信され、約70名が視聴しました。

なお、同セミナーの様子は、YouTube配信のアーカイブを視聴いただくことが可能です。

くアーカイブ URL : https://youtu.be/7Kqz1XeH1_k >

阪神・淡路大震災では、被災の影響で十分に口腔ケアができず、口腔内に繁殖した細菌などにより引き起こされた肺炎が原因で、多くの高齢者が命を落としました。阪神・淡路大震災後、数々の被災地で被災者の口腔ケアにあたってきた歯科医師の足立了平氏は、災害関連死について、誤嚥性肺炎の要因、災害時の口腔ケアの重要性などについて発信しました。内科医の今井一彰氏も登壇し、全身疾患と口腔ケアの関係性などを発信しました。

■ 概要 ■

- 1 開催日時 令和4年1月11日(火曜) 13時30分から14時30分
- 2 実施会場 神戸市危機管理センター1階本部員会議室
- 3 主な内容
 - ①挨拶 花田裕之(神戸市健康局長)
 - ②神戸市における歯科口腔保健の取り組みについて
渡辺雅子(神戸市保健所口腔保健支援センター長)
 - ③神戸市における災害時口腔ケアに関する取り組みについて
～1.17.の振り返り 阪神・淡路大震災からの学び～
足立了平(神戸市健康局 歯科専門役、ときわ病院 歯科・歯科口腔外科部長)
 - ④全身の健康は歯と口の健康から
今井一彰(内科医、東洋医学会漢方専門医、NPO法人日本病巣疾患研究会副理事長)
 - ⑤マウスウォッシュによる口腔ケア
浅田友香(ジョンソン・エンド・ジョンソン コンシューマーカンパニー 広報)

■ 写真 ■



会場の様子



①挨拶
神戸市健康局
花田局長



②「神戸市における歯科口腔
保健の取り組みについて」
渡辺 口腔保健支援センター長



③「神戸市における災害時
口腔ケアに関する取り組み」
神戸市歯科専門役
足立了平先生



④「全身の健康は
歯と口の健康から」
内科医 今井一彰先生



⑤「マウスウォッシュ
による口腔ケア」
J&J広報 浅田友香氏



配布物



NHKによる取材

■ 参加者の感想 ■

- ・口腔ケアの大切さについて、災害時から考える機会をありがとうございました。
- ・災害関連死の死因が誤嚥性肺炎が1位ということに驚きました。災害時に優先順位が低くなりがちな口腔ケアですが、その重要性を根拠と共に示していただいたので、今後のケアに生かしたいと思います。

■ 参考 ■ 阪神・淡路大震災における震災関連死の死因別割合

平成7年の阪神・淡路大震災では、震災後2か月以内に死亡した「震災関連死」921人の中で、最大の死因は、肺炎が223人と24%を占めた※。これらの肺炎のうち、多くは誤嚥性肺炎と考えられ、入れ歯の紛失、水不足による口腔清掃不良、避難所の生活環境などにより、口腔内が清潔に保たれなかったこと、そのうえ全身の抵抗力が低下したことが大きな要因と考えられる。

※「大規模災害時の口腔ケアに関する報告集」
大規模災害時における歯科保健医療の健康危機
管理体制の構築に関する研究班

